

授業科目名	医療人類学			担当教員	鈴木 清史	
開講年次	3年後期	セメスター	6	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	保健医療にかかわる文化の多様性を学び、文化が人間集団の多様な価値観やライフスタイルにどのように影響しているのかを理解する。					
到達目標	①文化概念／②生業と食生活の関連／③生活様式の多様性・人間の行動様式の多様性、を理解することができる。加えて、④保健医療の普遍的側面と個別的側面を理解し、⑤人間の尊厳および権利について語ることができる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	看護教育の4つの主要柱の1つである国際にかかわる専門基礎科目である。この科目では、文化人類学の派生として、人間の生活と医療看護に特に焦点を当てている。技術と知識としての看護は、人間への思いが底流にあることを確認する科目になると考えられる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	○	○	○	○	○	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	文化とは何か／医療とは何か	講義	文化／医療概念の整理（復習）	100分	鈴木	
2	Disease/ illness/ sickness 概念の再確認	講義	概念復習と整理（復習）	100分	鈴木	
3	生業の変遷	講義	生業と社会の変化を整理する（予習）	100分	鈴木	
4	宗教とは何か	講義	宗教の特徴とその多様性を整理（復習）	100分	鈴木	
5	病気観の多様性	講義	病気についての多様な見方を理解する（復習）	100分	鈴木	
6	保健医療の現場での文化的多様性とは	講義	看護師を中心とする保健医療現場での文化社会現象を整理する（復習）	100分	鈴木	

7	医療従事者にまつわる文化的社会的特徴について	講義	保健医療従事者の職業をめぐる文化的社会的特徴を整理する(復習)	100分	鈴木
8	文化の多様性と医療 まとめ	講義	これまでの講義で得られた情報をどのように統合することができるのかを考えておく(復習)	100分	鈴木
先行履修科目					
テキスト					
参考文献	波平恵美子：医療人類学入門. 朝日選書, 1994. 波平恵美子 編：系統看護学講座 基礎9 文化人類学. 医学書院, 2011. 鈴木清史(訳)：人類学とは何か (T. H. Erikson) 世界思想社 2008				
評価方法	授業参加 40% 期末レポート 60% から総合的に判断(なお、学期中に小レポートを課すこともある)。				
メッセージ	教員学生さん間で意見を述べあいながら講義を進めることができることを希望している。				